



社長に聞くークラボウの歴史とD&I

3月は創立記念月。そこで、

「クラボウの歴史とダイバーシティ&インクルージョン（以下、D&I）」をテーマに社長の藤田さんにお話しを伺いました。

D&I推進に対する藤田さんの熱い思いをお伝えします。



藤田社長

方針として掲げた言葉です。

一人一人の才能や、果たすべき役割が異なっていても、組織の目的を達成するために、皆が心を一つにして、お互いに力を合わせて協力していく、という意味で、まさにダイバーシティ&インクルージョン（多様性と受容）です。D&Iという言葉は新しいですが、今から133年前の当社創業時にそのような考え方を経営方針としていたことに大変驚かされます。クラボウに流れるD&Iの精神とは、同心戮力の精神そのものと言えるでしょう。

Q1. 藤田さんは以前、「D&Iの精神は、一人一人の個性を認め合いつつ、目標に向かって一致協力することであり、クラボウの社是“同心戮力”にも通じるものがある」と述べられていました。クラボウに流れるD&Iの精神とは、どのようなものとお考えでしょうか。

A1. 同心戮力は、社内の和と團結を第一とし、全ての従業員が立場や職責を問わずに個々の力を十二分に発揮できる環境づくりを目指し、初代社長大原孝四郎が社是、すなわち経営の基本

Q2. クラボウの歴史において、D&Iはどのように生かされてきたとお考えでしょうか。

A2. 父孝四郎の跡を継ぎ、2代目社長に就任した大原孫三郎は、従業員の労働環境の改善や地域社会への貢献に取り組み、大原美術館、倉敷中央病院、大原記念労働科学研究所などを設立しました。

「僕の眼には10年先が見える」と言う孫三郎の言葉が示す通り、ひるむことなく将来を見据えた新たな事業に取り組むこのチャレンジングな姿勢は、その後、繊維から化成品・エンジニアリング、エレクトロニクス、バイオメディカル、工作機械、食品事業への展開や1957年以降の海外進出へつながりました。



D&I推進ポスター



大原孝四郎



大原孫三郎

社会貢献の実践やさまざまな新規事業の創出、異文化の下での経営は、まさにD&Iであり、振り返ってみれば、当社の現在に至る事業拡大にD&Iは欠かすこととはできなかつた、と言えますのではないでしようか。



KURABO

A3. 私たちを取り巻く社会やビジネス環境は、グローバル化やIT化の進行により急激に変化し続け、お客さまや各企業・組織に属する人々の価値観やニーズも多様化しています。

私たちの生活を一変させた新型コロナウイルス感染症の拡大により、これらの変化や多様化は、ウイズコロナ／アフターコロナや新常態という切り口でさらに加速していくでしょう。このような情勢の中で、従来の発想ややり方では時代から取り残されしていくことはおろか、淘汰されてしまう可能性すらあります。



私たちの生活を一変させた新型コロナウイルス感染症の拡大により、これらの変化や多様化は、ウイズコロナ／アフターコロナや新常態という切り口でさらに加速していくでしょう。このような情勢の中で、従来の発想ややり方では時代から取り残されてしまうことはおろか、淘汰されてしまう可能性すらあります。

A3. 私たちを取り巻く社会や
ビジネス環境は、グローバル化
やIT化の進行により急激に変
化し続け、お客さまや各企業・
組織に属する人々の価値観やニ
ーズも多様化しています。

新たにノベーションを創出
して変化や多様化に対応するた
めには、多様な人材がそれぞれ
のパックグラウンドを活かして、
生き生きと活躍できる企業であ
ることが必要です。D&I推進
は、メリットをもたらすという
以前に、当社がこの先も存続し
続けるためには、必ず取り組ま

ますが、そのスピード感を含め
私が期待している本質的な変化
にはまだ至っていません。特に
事業部門間や社外の方々とのコ
ミュニケーションの活性化を通
じて、さらなるD&Iの浸透を
図つていただくことを願つてい
ます。

これがクラボウのD&Iの考え方です。

一昨年、D&I推進宣言を行
い、諸施策に取り組んできまし
たが、引き続き、皆さんが高い
満足感をもって日々の業務に取
り組み、能力を発揮できるよう、
制度や環境の整備を行い、すべ
ての社員が活躍できる企業風土
づくりを推進していきたいと思
います。当社が前向きに大きく
変化していることを全員が実感
できるよう、役員、社員の皆さ
んには積極的にD&I推進に取
り組んでいってほしいと思いま

さあ、面白がろう。

Q5. 未来へ向けて、藤田さん
のD & I推進への思いをお聞か
せください。

A5. 組織でのさまざまな意思決定の場において、一人一人の

奇心と行動力で常に新しい価値を提供してきた会社です。私は、従業員がお互いにもつと意見をぶつけ合い、チャレンジングに行動する会社でないと願い、創業130周年を迎えた際「創業当時に立ち返り、一人一人が面白がりながら仕事に取り組み、新しい価値を作り出していくことを」と皆さんと誓いました。

あれから3年が経ち、各事業部門における取り組みや組織風土改革などの成果も出つつあり

多様な個性を互いに尊重しあい認めあうことで、社員が共に活躍・成長できる職場環境・風土を築くことはもちろんのこと、社員自身が自分の個性・強みを発揮することで、イノベーションと新しい価値を創造し、より良い未来社会づくりに貢献する

個性・強みの発揮により、
イノベーションと新しい価値を創造

企業の持続的成長の原動力となり、
より良い未来社会づくりに貢献

すべての社員が活躍・成長できる
職場環境・企業風土づくり

ダイバーシティ&インクルージョン推進